2024 年度第4回出版委員会議事次第

日時：2025年 2 月8日（土）午前 10 時 00 分から
出席委員： 坂内、髙橋、小嶋、高田、永井、朴、小松崎、中村、久保

報告事項：

1. 会誌編集委員会報告（小松崎）：出 1

2. Biophysics and Physicobiology 編集委員会報告（中村）：出 2
    1. BPPB の発刊状況
    2. 2024 年 12 月 21 日の BPPB Editorial Board meeting の報告

3. ウェブサイト編集委員会報告（久保）：出 3

審議事項：

4. Biophysics and Physicobiology 編集委員会議題（中村）：出 4
    1. Cover image の数を各号 2 つに増加させるための経費について

5. BPPB 論文賞選考委員の選出（髙橋）：出 5

6. 生物物理 訃報記事について（髙橋）

7. 著作権管理委託著作物リスト(AI 利用) 更新のお願いについて（坂内）

その他

報告事項:

1. 会誌編集委員会報告(小松崎):出 1

小松崎氏より委員会報告が以下の通りなされた.

●原稿の進捗状況

●IUPAB 実行委員所感

1,「第 21 回 IUPAB 国際会議報告―第 6 回と第 21 回に見る生物物理の半世紀―(仮題)」永山國昭氏,片岡幹雄氏

2,IUPAB 実行委員所管の原稿状況

●特集号について

① 「アクティブマターの最前線~基礎解明から機能探索、機能実装まで~」(角五副編集委員長)

② 合成生物学(中村秀樹編集委員:2024 年任期終了)

2. Biophysics and Physicobiology 編集委員会報告(中村):出 2

中村氏より委員会報告が以下の通りなされた.

1. BPPB の発刊状況

2. 2024 年 12 月 21 日の BPPB Editorial Board meeting の報告

3. ウェブサイト編集委員会報告(久保):出 3

久保氏より委員会報告が以下の通りなされた.

●委員会活動の報告

1. 学会事務局(末吉さん)と株式会社プラグインにより、学会サイトの修正を実施.

2. 第 1 回ウェブサイト編集委員会を 1 月 15 日に開催

審議事項:

4. Biophysics and Physicobiology 編集委員会議題(中村):出 4

中村氏より以下の審議依頼がなされた.

1. Cover image の数を各号 2 つに増加させるための経費について

⇒ 出版委員会および理事会において,承認された.

5. BPPB 論文賞選考委員の選出(髙橋):出 5

高橋氏より以下の審議依頼がなされた.

1. BPPB 論文賞選考委員,鳥谷部氏,パウララウリーノ氏(OIST)について.

⇒　　出版委員会および理事会において，承認された.

6．生物物理 訃報記事について（髙橋）

高橋氏より，以下の説明と審議の依頼がなされた.

・名誉会員の訃報に関する申し送り事項の確認.

・三井利夫先生の追悼記事（片岡氏，難波氏）の依頼について，お認めいただきたい.

⇒　　出版委員会，および，理事会で承認された.

7．著作権管理委託著作物リスト(AI 利用) 更新のお願いについて（坂内）

坂内氏より下記審議の依頼がなされた.

・現在は，アナログ（紙媒体の複写）のみ著作権管理委託をしている.

・AI利用のまとめサイトへの著作権管理について.

⇒　　出版委員会，および，理事会で承認された.

その他

久保氏より審議依頼が以下の通りなされた.

●ビデオアーカイブの復旧作業費用について（継続課題）.

・復旧作業：　昨年のサーバ移管に伴い、消失したビデオアーカイブを閲覧可能にする.

・復旧対象：新学術「運動マシナリー」（代表：宮田真人）の動画
https://www.motility.sci.osaka-cu.ac.jp/video/index.php?initials=W

・株式会社 ONE WEB が作成した新学術「運動マシナリー」の HP を学会 HP に載せられるよう，コードの書き換えを依頼.

⇒　　版委員会および理事会において，承認された.

●学会 HP「新技術紹介」・「Applications of Biophysics」の更新について，以下の提案がなされた.

・生物物理学から生まれた新しい製品の有無の調査等を行い、必要に応じて当委員会で HP を更新する．IUPAB と関連した問題であり、理事会にはかる.

・提案の意図：産学連携と国際化を今後の方針とし，産学連携の成果としてアピールする.

・対象：「新技術紹介」：https://www.biophys.jp/pub/pub05.htmと「Applications

of Biophysics」：https://www.biophys.jp/pub/pub-e02.html

・サイトの説明：

1. 当該サイトは、永山國昭氏が IUPAB の会長当時， Taskforce を組織して作成．IUPAB の HP とリンク．https://iupab.org/taskforces/task-force-in-applications-of-biophysics/
2. 生物物理学から生まれた製品の紹介（企業広告とは異なる）

坂内氏・中村氏：日本生物物理学会理事会で提案し，IUPABとの連携法を探る．

高橋氏：会長，副会長で相談し，再度審議する．

永井氏：本提案の説明が以下の通りなされた．

・2015年の4件から未更新のため，体系化が必要と考える．今後，候補者，候補企業をリストアップするとよい．

・IUPABからの紹介も期待したいが，現状はBSJ（永山氏主導）からのみ．IUPABの西坂氏より，次期IUPAB開催国ドイツ（候補者Jacob氏，Hell氏）にTaskforceとしての活動を働きかけていただきたい．

⇒ 出版委員会および理事会において，審議を継続する．

●学会 HP「生物物理のテーマ」ページの更新について

・https://www.biophys.jp/highschool/introduction.html（株式会社プラグイン）

⇒ 出版委員会および理事会において，承認された．

2024 年度第4回男女共同参画・若手支援委員会議事次第

日時：2025年 2 月8日（土）午前 11 時 00 分から
出席委員： 髙橋、秋山、片山、小島清嗣、小島慧一、茶谷、中根、藤原

審議および報告事項

1. 2025 年度 年会関係
若手奨励賞について（秋山）：男女 1-1
学生発表賞について（相沢）：男女 1-2
男女若手シンポジウム（片山）
キャリア支援説明会（中根）

2. 若手の会 夏の学校報告 （片山）：男女 2

3. 生科連第 30 回定例会議のご報告（中根）：男女 3

4. その他

審議および報告事項

1．2025 年度 年会関係

西坂氏にかわり，高橋会長より以下の委員会報告がなされた．

●若手奨励賞について（秋山）：男女 1-1

秋山氏より委員会報告が以下の通りなされた．

・募集要項の変更について．

・更新後の募集要項は奈良年会受付開始時に公開する．

⇒ 男女若手委員会および理事会において，承認された．

●学生発表賞について（相沢）：男女 1-2

相沢氏より委員会報告が以下の通りなされた．

・IUPAB2024 共同年会では，学生発表賞選考を一般参加者による投票とした．特に問題はなかった．

・アンケートの分析の結果について．

相沢氏：奈良年会，口頭発表できるときは，これまでの踏襲でよい．ポスター審査の時は，将来的に考えるとよい．申し送り事項とする．

高橋氏：韓国年会時に早めに確認することとする．（高田氏：次々回は 12 月の理事会が最終期限である．）

秋山氏：奨励賞選考委員は次回委員会で行う．

●男女若手シンポジウム（片山）

片山氏より委員会報告が以下の通りなされた.

男女若手シンポジウム：仮１）転換期こそチャンス！？先人から学ぶキャリアの道筋

・キャリアに焦点を当てた企画にしたい. 産学の行き来が流動的である点などを踏まえ,

パネルディスカッション形式を予定している.

仮１）アカデミアと企業で未来を描く

仮１）嫌いの自分を描く：先人から学ぶキャリア選択

●キャリア支援説明会（中根）

中根氏より報告が以下の通りなされた.

・キャリア支援説明会（中根）初日，アカリク個別相談会，理系修士博士の就活，PD

以降のための民間企業転職の手引き，トランスファラブルスキルと専門外就職

2．若手の会 夏の学校報告 （片山）：男女２

中根氏より報告が以下の通りなされた.

・夏の学校テーマ：Departure〜ここが僕らの出発点〜，IUPABに刺激を受けて,

Hands onを行う． オープニングは永井氏．永井氏提案からの高校生参加に関して

は，今年は配信で参加してもらう予定.

・助成金について．2年前より増額された通り50万円のご支援をいただきたいと嘆願

書が提出されている.

⇒　理事会において，承認された.

3. 生科連第 30 回定例会議のご報告（中根）：男女 3
中根氏より報告が以下の通りなされた.

●運営委員

東原 和成*（生科連 2023-2024 代表）

1. 代表挨拶

2. IBO・JBO（国際生物学オリンピック）について

3. 研究費・人材育成委員会について

「科研費増額に関する要望書」提出

後藤由季子先生（生科連副代表），経団連 6 つの提言の一つに科研費増額があがっていた.

4. 生物教育・大学入試問題検討委員会について

（1）　生物教育用語集解説書編集委員会（仮称）の立ち上げについて

5. 日本学術会議について

坂内氏・秋山氏：JSPS 科研費 1 %弱伸びた，補正予算もついた.

4. その他

2024 年度第 4 回（一社）日本生物物理学会理事会議事次第

日時：2025 年 2 月 8 日（土）13:00～16:30

場所：東北大学（オンライン開催）

出席者: 理事総数 20 名 出席理事 17 名 （代表理事を含む）

代表理事（会長）	髙橋 聡	理事（副会長）	坂内 博子
理事	相沢 智康	理事	秋山 修志
理事	片山 耕大	理事	小島 清嗣
理事	小島 慧一	理事	小嶋 誠司
理事	須藤 雄気	理事	高田 彰二
理事	茶谷 絵里	理事	中根 大介
理事	永井 健治	理事	朴 三用
理事	日比野 佳代	理事	藤原 郁子
理事	山下 敦子		

監事: 監事総数 2 名 出席監事 1 名

監事	金城 政孝	監事	諏訪 牧子

オブザーバー:

欧文誌編集委員長	中村 春木
会誌委員長	小松崎 民樹
ウェブサイト編集委員長	久保 稔
2025 年度年会委員長	高田 彰二（兼任）
2026 年度年会委員	朴 三用（兼任）
中部支部長	古谷 祐詞
中国・四国支部長	松浦 宏治
次期日本生物物理学会理事	飯野 亮太
次期日本生物物理学会理事	新井 宗仁
次期日本生物物理学会理事	冨樫 祐一
次期日本生物物理学会理事	森本 雄祐

陪席者:

学会事務局	末吉 建太

議長：代表理事（会長） 髙橋 聡

議事録作成者: 日比野佳代

2024 年度第 4 回（一社）日本生物物理学会理事会議事次第

日時：2025 年 2 月 8 日（土）13:00～16:30
場所：東北大学（オンライン開催）

報告事項：

1. 地区報告
   北海道支部（相沢）：報 1-1
   中国・四国支部（松浦）
   九州支部（代理：髙橋）：報 1-2
2. 2025 年度年会準備状況（高田）：報 2
3. 2026 年度年会準備状況（朴）：報 3
4. 国際関連委員会報告（藤原・中根）
5. 賞・助成金推薦委員会報告（坂内）：報 5

その他

審議事項：

1. 2025 年度事業計画（案）（髙橋）：議 1
2. 2024 年度事業報告（案）（髙橋）：議 2
3. 2025 年度予算（案）（茶谷）：議 3
4. 2025 年度総会シンポジウムについて（髙橋）：議 4
5. 監事選出、理事の追加承認について（永井）：議 5
6. 2027 年年会開催地について（髙橋）：議 6
7. 滞納 3 年以上の会員の除籍と会員数の推移について（片山）：議 7
8. 名誉会員推薦、規約について（髙橋）：議 8
9. 功労会員・終身会員の承認について（髙橋）：議 9

その他

定足数の確認：

理事会の審議に先立ち、議長・高橋 聡氏より定足数の報告があった．

理事総数 20 うち、出席者 17 により過半数を超えた．

報告事項:

報告事項:

1.地区報告

北海道支部(相沢):報 1-1

相沢氏より報告が以下の通りなされた.

●2023 年度会計報告

●支部会の予定(2月21日, 東北支部と共同合同開催予定)

中国・四国支部(松浦)

松浦氏より報告が以下の通りなされた.

●支部大会の予定(5月17－18日).

九州支部(代理:髙橋):報 1-2

高橋氏(代理)より報告が以下の通りなされた.

●日本生物物理学会・九州支部 講演会・例会報告について.

●熊本大学創薬セミナーを開催した(2024 年 6 月 2 日、11 月 16 日、12 月 6 日、会場:熊本大学薬学部キャンパス講義棟). 配信後、詳細を報告する予定である.

●支部だよりにて活動内容を報告した. 添付(1)に会計の詳細を記載した.

●会計報告.

2.2025 年度年会準備状況(高田):報 2

高田氏より報告が以下の通りなされた.

●奈良年会の概要説明.

●シンポジウム公募と採択案について. 有効応募数45件(過去最多)

・非採択になる応募シンポジウム5 件には、年会一日目イブニングセッション枠(1 時間40 分)でのミニシンポジウムの開催を打診する.

●企業協賛について.

展示ブース 最大50 件, BP セミナー枠 最大15 件

秋山氏:賞選考会の会場手配の依頼と3日目科研費説明会枠の確認.

高田氏:BPPB論文賞受賞講演を一般口頭発表枠で行う. ウェルカムレセプション@ポスター会場, 企業展示会ブースにデモの機会を設ける.

●収支予算(案)について

●協賛企業について

●学生発表賞の座長について

3. 2026 年度年会準備状況（朴）：報 3

朴氏より報告が以下の通りなされた．

1．2026韓国年会 準備状況報告

1）．開催概要

・ 会期：2026年11月23日（月）～28日（土）

・ 会場：BEXCO（釜山）

2）．大会名称について

・以下の名称案を作成した．理事会のご意見を伺いたい．

- 案1：

Biophysical and Biomedical International Conference: The Joint Conference of the 64th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan and the xx_th Annual Meeting of the Federation of Korean Societies for Biomolecular Sciences.

- 案2：

Japan-Korea Joint International Biophysics Conference: From Basic Life Sciences to Biomedical Applications In collaboration with the 64th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan and the xx_th Annual Meeting of the Federation of Korean Societies for Biomolecular Sciences.

・2/20.21開催の韓国連合学会の理事会で提案・議論し、最終決定する．

3）．**PCO**・予算について

・ MJ Partnersに見積もりを依頼．

・ 2/25にMJ Partners代表者、朴委員長、李委員でオンラインミーティングを実施予定．

4）．プログラムについて

4-1. シンポジウムについて

・ 2/20.21開催の韓国連合学会の理事会で、BSJ歴代年会のシンポジウム数タイトルを紹介し、必要セッション数の検討を依頼する予定である．その上で必要な会場数を決定し、予算案を具体化する．

・ BSJ年会のシンポジウム企画はすべて公募によるものだが、実行委員会でオーガナイズする企画があってもよい．公募する場合も日韓のシンポジストを入れるなど条件を設けることも今後検討する．

4-2. 日程表について（資料：別紙1）

・ 現状では、ポスターセッションの枠が11/24(火)午後と11/26(木)午後のみとなっており、不足しているように思われる．11/25(水)午前中のポスターセッションを検討．

・ 最終日11/27(金)を午前だけにするか、BSJ年会のように午後まで開催して午後にポスターセッションをするか検討中．理事会からもご意見をいただきたい．
・ 特別なプログラムを企画することを検討している．日韓合同のイベントや分野ごとのディスカッション、ミキサー形式、韓国と日本の歴史的な、サイエンティフィックな交流を話すセッションなど、引き続き詳細を検討していく．

5）．実行委員の追加について
・ 韓国側のメンバー増員を検討中．日本側でも若手メンバーを追加予定．

6）．その他
・ 奈良年会で日韓の2国間シンポジウム（オーガナイザー：高橋・李）を企画．日韓の共同研究の例を紹介することを検討している．

7）．次回実行委員会
・ 次回は3月19日（水）16:00～開催予定．
・ MJ Partnersの金氏も出席予定．BSJから西坂・坂内副会長、小島企業担当理事にもご
出席いただきたい．

高橋氏：李さんからの韓国構造生物学学会，韓国生物物理学会メンバー，韓国生物物理学会．会長，日本側選考中．

8）．今後のタスク
2/20,21韓国連合学会理事会での報告（朴・李）
・大会名称案の検討
・シンポジウム数の検討
・シンポジウムの企画形式検討（公募、ジョイント方法など）
・2/20,21の韓国合同学会にて、出展企業に宣伝（朴・李）
・3/10 梶田隆章先生に講演依頼予定（朴）
・予算案の雛形を作成し、詳細金額の記入をPCOに依頼（垣内）
・～2025年6月 趣意書原案の作成（高橋・池口）
・～2025年夏頃 連合学会との契約書原案の作成

4. 国際関連委員会報告（藤原・中根）

中根**氏より報告が以下の通りなされた．**

●2国間シンポジウムの進捗
・高田氏によるシンポジウム資料中シンポジウム２１，２６，２７

・古池氏・沖沼氏（ノルウェー），石渡氏（台湾），高橋氏（韓国）

高橋氏：若手奨励賞の1年以内にＢＰＰＢ記事を出す，シンポジウムの座長をする権利があることを明記してはいかがか？渡航費を出せないが，滞在費を出せるため，若手が海外コネクションを作るよい機会となる．
秋山氏：受賞者に権利獲得を知らせる形でもよい．

5．賞･助成金推薦委員会報告（坂内）：報 5

その他

坂内**氏より報告が以下の通りなされた．**

1．第15 回育志賞 R6.5.28 髙田 咲良 氏 採択

2．第22 回江崎玲於奈賞 R7.3.17　の推薦について依頼がなされた．

その他

審議事項：

1．2025 年度事業計画（案）（髙橋）：議 1

高橋**氏より**議 1資料の説明および**審議の依頼がなされた．**

・永井会長をはじめ，次期理事会の皆様の運営方針を盛り込む．次回の理事会（4月）までに更新する．

⇒　　審議を継続する．

2．2024 年度事業報告（案）（髙橋）：議 2

高橋**氏より**議 2資料の説明および**審議の依頼がなされた．**

・次回理事会で最終決定する．それまでにご確認願いたい．

⇒　　審議を継続する．

3．2025 年度予算（案）（茶谷）：議 3

茶谷**氏より**議　3資料の説明および**審議の依頼がなされた．**

⇒　　理事会において承認された．

4．2025 年度総会シンポジウムについて（髙橋）：議 4

高橋氏より，以下の報告がなされた．

・永井氏主導で使用言語も含め，提案していただく．

・韓国年会は2国間シンポが総会シンポジウムにあたる．

⇒　　理事会において承認された．

5．監事選出、理事の追加承認について（永井）：議 5

永井氏より，以下の審議依頼がなされた．

・次期監事候補として、下記の先生方より内諾をいただきましたので、ご報告いたします.

佐甲 靖志 先生（理化学研究所）

原田 慶恵 先生（大阪大学）

・定時社員総会6月で選任される.

⇒ 理事会において承認された.

・理事候補として追加で承認いただきたい.

＝＝＝＝＝＝

小川 力也 さま （科学教室力塾）中等教育との連携のため. 富田林高校の非常勤. SSHとのパイプ.

晝馬 亨 さま （浜松ホトニクス）産学連携のため. 小島清嗣氏の推薦による.

山城 佐和子 先生 （京都大学）女性, 国際性に長けている.

⇒ 理事会において承認された.

6. 2027 年年会開催地について（髙橋）：議 6

高橋氏より, 以下の審議依頼がなされた.

・次期は九州地区の可能が高い. 大会長候補者に打診する.

⇒ 理事会において承認された.

7.滞納 3 年以上の会員の除籍と会員数の推移について（片山）：議 7

片山氏より, 以下の説明がなされた.

・3 年滞納者（42 名）. 時期理事会で名簿共有. 連絡し, 返事がない場合は除籍となる.

・2022 年度学生会員無料化から初めての一般会員変換年である. 文面確定後, 事務局より連絡.

・高橋氏：2 月中をめどに, 会員への一斉メールで周知する.

⇒ 理事会において承認された.

8.名誉会員推薦、規約について（髙橋）：議 8

高橋氏より, 以下の審議依頼がなされた.

・最近の例を踏まえ, 規約の変更を行う.

・小松崎氏, 高橋氏：終身会員も同じ文言とする.

⇒ 理事会において承認された.

9. 功労会員・終身会員の承認について（髙橋）：議 9

高橋氏より, 以下の審議依頼がなされた.

・功労会員候補者のご紹介.

安藤 敏夫氏

生物物理学会への貢献を鑑み, 本人が希望されれば, 名誉会員として推薦したい.

⇒　　理事会において承認された．

・終身会員
　　中西博氏，
　　小川廣男氏，
　　広瀬恵子氏，
　　阿久津秀雄氏，
　　山口武夫氏，
　　曽良達生氏
⇒　　理事会において承認された．

その他

・須藤氏：講師派遣について．2024年度2回高校からオンライン依頼があった．規定にオンラインへの対応を含めるとよい．
⇒　　理事会において承認された．

連絡事項：
1．次回理事会日程について　　（髙橋）
　2024 年度第 5 回理事会
　日時：2025 年 4 月 26 日（土）
　場所：（TV 会議）
2024 年度第 5 回男女若手委員会
2024 年度第 5 回出版委員会を同日開催予定
定時社員総会候補日：6 月21 日

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 16：30 に閉会を宣言して散会した．
上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する．

2025 年 2 月 8 日

一般社団法人 日本生物物理学会 2024 年度第 4 回理事会
代表理事　　髙 橋　聡　（印）

監事　　金 城　政 孝　（印）

監事　　諏 訪　牧 子　（印）